



koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向二丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-43-9077
https://koryo-high-school.com / Eメール koryo@chibagakuen.ac.jp



皆さんは「チーム向陵」の仲間

4月7日(月)、真新しい制服に身を包んだ44名の新入生を迎え、令和7年度入学式が挙行された。式辞の中で校長先生は、「皆さんは、熱い思いを胸にここに集う『チーム向陵』の仲間です」と述べ、「向陵高校は楽しく学べる学校」と紹介した。その楽しさを仲間と共に自分たちで作り上げていくことを、全力でサポートしていきましょう」とエールを送った。新入生代表挨拶は、江陽中学校出身の佐々木礼登さんが務めた。佐々木さんは、向陵高校の名の由来を挙げ、名の通り「大きな丘の先にある未来に向かっていきましょう」と呼びかけた。



春の息吹が感じられる今日、私たち44名は向陵高校の新入生として入学式を迎えました。校長先生をはじめ、先生方、本日は私たちのために、このような素晴らしい式を準備して下さい、本当にありがとうございます。私たちは、これから始まる新たな学校生活の中で、どんなことが待っているかという期待に胸を膨らませています。

私は去年、向陵高校の体験入学に参加させていただきました。その時に向陵高校の良いところを感じることができました。その一つは少人数教育です。これは授業や部活動で一人ひとりにしっかりと指導していただけるということです。私の出身中学校も小規模であったため安心していきます。部活動体験ではサッカー部の練習に参加しました。部員全員が楽しそうにサッカーをしており、なおかつ、勝ちにこだわるサッカーをしているところに惹かれました。私は小学校4年生の頃からサッカーを続けています。向陵高校で、青森山田高校や野辺地西高校に勝てるような技術を身に付け、仲間と共に、より上を目指していこうと思います。私はこれらを志望理由としてここに立っています。

ところで、新入生の皆さんは「向陵」の名前の由来を知っていますか。先日入学説明会の資料にこうありました。向陵高等学校は、八戸市田向に位置し、東西を新井田と館越・中居林のゆるやかな丘陵にはさまれ、南に階上岳を望むことが出来る。このように三方を丘陵に囲まれながら、未来に向かって大きく伸びることを願い、『向陵高等学校』と命名された。

この名の通り、大きな丘の先にある未来に向かっていきましょう。そして、校歌の一節らしいのですが、生徒玄関に掲げられている「高き希望を星につながらん 若人われら 睦みて学ぶ 忍びて鍛う」を胸に、挑戦し続ける3年間にしましょう。

最後になりますが、先生方、保護者の皆様、そして3年間を共に学び、共に過ごす新入生の皆さん、どうぞよろしくお願いたします。

令和7年4月7日
新入生代表
佐々木 礼登
(江陽中学校出身)



新任式

4月4日(金)、新たにお2人の先生をお迎えし、新任式が行われた。全校生徒を代表し生徒会役員が花束を贈呈した。



伊藤 寛子先生(社会)

4月から新しく着任しました伊藤寛子です。これまでは日本語教師として、高校生や大学生、社会人などに日本語を教えていました。「高校の先生」という新しい世界に入ることには不安もありましたが、日本語を学ぶ学習者たちが、言葉も文化も違う国でひたむきに頑張っている姿を見て、私も新しい世界に挑戦してみようと思いました。知らなかったことを学ぶ楽しさと、それによって自分が少しずつ変わっていく感覚を、感じてもらいたいと思っています。



高橋 龍一先生(理科)

皆さん、初めまして。高橋龍一です。私は今年の3月に大学を卒業して教師となりました。生物基礎の授業を担当します。新米教師なのでベテランの先生方に比べたら、授業も不慣れで今はまだ頼りないかもしれません。ですが、皆さんと時間をかけてコミュニケーションを取って信頼関係を築いていこうと思います。新学期になり心身ともに疲れがたまっていると思いますが、そんな時は気軽に話しかけてください。これからよろしくお願いたします。

自転車用ヘルメット贈呈式



4月4日(金)、生徒が安全に自転車通学ができるよう、PTAOB会(小笠原修会長)が自転車用ヘルメットを55個寄贈して下さいました。贈呈式には同会の吉田守夫副会長が出席し、代表生徒に自転車用ヘルメットとワイヤーロックを手渡しました。自転車乗車時のヘルメット着用は努力義務となっているが、同会は「命を守るために」着用率を高めようと寄贈することを決定。その思いに賛同したPina21様がワイヤーロックを贈って下さった。実際に着用した佐藤龍夫さん(3年・南足柄市立足移動時)によく自転車を使うので、安全に気を付けヘルメットを被りたいです。贈って下さった方々に感謝して乗ります」と感想を述べた。

悲しみの雨に包まれ

4月8日(火)、学校法人千葉学園千葉満理理事長が逝去されました。本校では、4月11日(金)に放送朝礼で生徒に訃報を伝え、黙祷いたしました。14日(月)、理事長先生が大好きだった本校校歌を流し、全校生徒と千葉幼稚園園児とで見送りいたしましたことを報告申し上げます。この日は、本校校並木に一輪の花を咲かせ、悲しみの雨が降る日となりました。



※胸校：桜の木が衰弱した状態やストレスなどにより、幹や枝の途中に直接花を咲かせる現象を指す。通常、桜は枝先に花芽がついて花を咲かせるが、この現象は樹木が活力を維持するために、幹や枝の途中に眠っていた芽が活発化して花を咲かせる。

対面式



4月8日(火)、生徒会主催で全校が初めて集う対面式が行われた。最初に、生徒会長の柄本百絵さん(3年・第三中学校出身)が「向陵は、春の桜に始まり、夏は青々とした新緑、秋は紅葉、冬は園児たちの雪だるまなど季節の変化を楽しむことができます。その四季折々の変化と共に感じ、一緒に成長していきたい」と挨拶した。入学式に続き新入生代表のことは佐々木礼登くん(1年・江陽中学校出身)が行い、1年生に贈られる記念品を受け取った。

新入生たちは、全員が所属する各委員会の活動内容に熱心に耳を傾けていた。部活動紹介では、部員たちのパフォーマンスに憧れの眼差しを向けていた。



ガイダンス実施



4月9日(水)、各学年ごとに進路・生活指導などのガイダンスを行った。1年生はさらに、授業の受け方や出欠など中学校とは異なるシステムについて説明を受けた。2年生は進路別のクラス編成となり、今やるべきことについて話を聞いた。3年生は、進路決定までの流れを確認。自分の進路にまだ不安を抱えている生徒たちもいたが、勝負の年となるだけに気を引き締めて真剣に話を聞いていた。

クラス役割決定

クラス役割が決定し、4月21日(月)の放送朝礼時に任命式を行った。生徒会役員の小泉一花さん(2年・大館中学校出身)が司会進行を務め、リーダーと委員長を紹介した。各クラスのリーダーの代表として梅内大翔さん(3年・南部町立名川中学校出身)、各委員の委員長を代表して柄本百絵さん(第三中学校出身)が任命状を授与された。校長先生は、「皆さんの代表です。一年間よろしくお願います。各自、責務を全うするように」と激励した。



任命状授与

《各クラスリーダー・副リーダー》

1年1組	リーダー	黒澤小太郎(巨理町立逢隈中学校出身)
	副リーダー	佐々木礼登(江陽中学校出身)
1年2組	リーダー	木村 優仁(北稜中学校出身)
	副リーダー	田中 公健(第二中学校出身)
2年1組	リーダー	小原 優羽(秦野市立本町中学校出身)
	副リーダー	高山 勝吏(湊中学校出身)
2年2組	リーダー	頼住 隆汰(厚木市立小針中学校出身)
	副リーダー	長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身)
3年1組	リーダー	梅内 大翔(南部町立名川中学校出身)
	副リーダー	目時 静音(十和田市立十和田第一中学校出身)
3年2組	リーダー	細越 優希(第一中学校出身)
	副リーダー	龍田 琉生(品川区立戸越台中学校出身)
《各委員会委員長・副委員長》	委員長3年	副委員長2年
中央委員会委員長	柄本 百絵(第三中学校出身)	
副委員長	中村 倖萌(東中学校出身)	
生活向上委員会委員長	富田 優輝(飯能市立原市場中学校出身)	
副委員長	野田 愁斗(豊崎中学校出身)	
環境整備委員会委員長	佐々木 悠翔(大館中学校出身)	
副委員長	川俣 創(等間市立等間中学校出身)	
保健体育委員会委員長	佐藤 蕾咲(南足柄市立足柄台中学校出身)	
副委員長	木田 明秀(白山台中学校出身)	
文化委員会委員長	大山 佑依(北稜中学校出身)	
副委員長	榊 朔愛(十和田市立南東中学校出身)	
図書委員会委員長	大久 風吾(白銀南中学校出身)	
副委員長	長畑 洸希(小中野中学校出身)	
防災委員会委員長	籠田 博彬(第一中学校出身)	
副委員長	上井 啓人(第二中学校出身)	

サッカー試合結果

《高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ 県1部2回戦総当たりリーグ戦》
○4月12日(土) 向陵 2-3 ウェンラーレ2nd
《得点》3年 細越 優希(第一中学校出身)
2年 長谷川 航太(江東区立深川第四中学校出身)
○4月19日(土) 向陵 5-0 青森北
《得点》3年 細越 優希(第一中学校出身) 2
2年 川俣 創(等間市立等間中学校出身)
2年 頼住 隆汰(厚木市立小針中学校出身)
2年 高山 勝吏(湊中学校出身)



《高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ 県3部前期ラウンド》
○4月13日(日) 向陵 0-5 八戸工大12nd
○4月20日(日) 向陵 0-6 八戸工業



避難訓練実施

4月22日(火)、地震を想定した全校避難訓練が行われた。今年度初めての避難訓練となったが、避難はスムーズで、昨年度よりも早い点呼報告となった。1年生は、避難場所、避難経路の確認を行っていた。11年3月11日の東日本大震災「釜石の奇跡」に触れ、「津波でんでんこ」(三陸地方に伝わる津波避難の教えで、「津波が来たら、各自でんでんこばらに高台に逃げろ」という意味)のお話をされた。この「津波でんでんこ」は、自分の命は自分で守るという自助と一刻を争う避難時の行動としていち早く逃げるのが大事である」とし、決して『自分だけが助かれればよい』という意味ではないということを強調された。自身が逃げることで他者の避難を促したり、互いに命を守る共助の重要性の要素が含まれていることを各自胸に刻んでほしいと結んだ。

